

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成27年4月24日	終期	平成30年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市空き家活用リフォーム推進事業 空き家の利活用の促進を図るため、福祉活動や住み替えといった市が進める施策において空き家を活用する場合に、そのリフォーム費用の一部を補助します。						
款・項・目	土木費 住宅費 住宅総務費						
所属等	建築部 住環境政策課 住環境整備室 電話025-226-2815(内線32816)						

年 度		27年度(1年目)		28年度(2年目)		29年度(3年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	35,500		36,000		33,000	
	決算(千円)	29,395		28,290		33,000	
補助率		1/2		1/2		1/2	
目 標		活用件数 60件 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上					118.3%	71件
	達成率 80%以上	93.3%	56件	95.0%	57件		
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		補助事業者(個人を除く)は、新潟市からの補助を受けて事業を実施した旨を記載する。					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> 補助額について、福祉活動タイプ<地域の茶の間>のみ補助対象経費が2万円(補助額1万円)以上となっている。 (実質的には「5万円以下の補助はしていない」) <g~hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
	① 拡充・改善(補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② 継続 ③ 廃止				
	①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 3年目は目標を達成する見込みである。他事業(木造住宅耐震改修補助)でも一部対応が可能であることから、住替え活用タイプの耐震上限額加算を廃止するが、地域で子どもが安心して過ごせる居場所づくりを推進するため、福祉タイプに子どもの居場所(子ども食堂)を新たに追加し、空き家の活用促進を図っていく。				